

5 花き

【注意】乳剤及び水和剤等で「150～300ℓ」等と記載した 10a 当り散布液量（または希釈水量）は、作物の生育段階や散布作業等を考慮した目安である。農薬使用に当たっては、必ず農薬容器のラベルを確認し、使用方法に散布液量（または希釈水量）の記載がある場合は、その量を遵守すること。

1) 使用方法

区分	除草剤名 (農薬名)	HRAC コード	備 考
きく	ゴーゴーサン乳剤 (ペンディメタリン乳剤)	3	○一年生雑草（キク科雑草及びツユクサを除く）優占ほ場で使用する。 ○土壌が極端に乾燥している場合は効果が劣る。
	ナブ乳剤 (セトキシム乳剤)	1	○一年生イネ科雑草(スズメノカタビラを除く)優占ほ場で使用する。 ○完全に枯殺するまでに7～10日を要する。 ○冬期の低温時や出穂期以降には使用しない。
	クレマートU粒剤(フタミホス粒剤)	3	○一年生雑草優占ほ場で使用する。 ○土壌が極端に乾燥している場合は効果が劣る。
	アグロマックス水和剤 (プロピサミド水和剤)	3	○一年生雑草（キク科及びカヤツリグサ科を除く）優占ほ場で使用する。 ○かく拌器付きの散布機を使用する。
きく (露地栽培)	トレファノサイド乳剤 (トリフルリン乳剤)	3	○一年生雑草(ツユクサ科, カヤツリグサ科, キク科, アブラナ科を除く)優占ほ場で使用する。 ○作物にかからないように散布する。 ○夕方や曇った日に散布する。 ○土壌が極端に乾燥している場合は効果が劣る。
きく (ポットマム)	クレマート乳剤 (フタミホス乳剤)	3	○一年生雑草（キク科雑草及びツユクサを除く）に適用。 ○土壌が極端に乾燥している場合は効果が劣る。
			○アメリカネナシカズラに適用 ○土壌が極端に乾燥している場合は効果が劣る。

【注意】農薬使用に当たっては必ず農薬容器のラベルを確認し、有効成分ごとの総使用回数を遵守すること。